

目 第30回福智町ともしび短歌大会 日常を個性豊かに短歌に込めて歌う

「第30回福智町ともしび短歌大会」が11月23日に中央公民館金田分館で行われました。短歌教室講師の柳原初子先生が10月20日までに提出された短歌59首の中から、特選4首と入選4首を優秀作として表彰。教育長と文化連盟会長の手から入賞者に賞状と賞品を授与し、お祝いと激励の言葉を伝えました。今回の優秀作は「P22の四季の歌」に掲載しています。



↑ 選者から短歌作りの心得を聞いた会員は、今後の作品作りに意欲を燃やしました。

↓ 誰もが安心して暮らす町をめざし、住民、行政、社協の役割を訴えた山崎准教授。



共 地域福祉活動計画中間報告会 共に支え合う地域づくりに向けて

福智町社会福祉協議会が現在策定中の「地域福祉活動計画」についての中間報告会が、11月30日に公民館金田分館で開かれました。前半は、住民アンケートや地区座談会で見てきた課題から、地域福祉活動の重要性などを説明。その後、筑紫女学園大学大学院の山崎安則准教授が今後の活動について助言し、120人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

澄 児童センター親子でウォークラリー 澄んだ秋空のもと親子で時間を共有

11月21日に「親子でウォークラリー」が方城児童センター主催で行われ、19チーム76人の親子が参加。方城地区各所に設けられた7つのチェックポイントに「なぞなぞ」が用意され、首をひねるような問題に悪戦苦闘しながらもチーム一丸となってチェックポイントを通過していきました。終了後にはカラーが振る舞われ、親子だんらんの一日を満喫しました。



↑ 配られた地図を頼りにチェックポイントを探索し、協力して答えを導き出しました。

↓ 11月28日に朝倉市で開催されたフォーラムで、県知事からの表彰状を授与。



赤 赤池中が県知事表彰受賞 赤池中の「異年齢交流活動」が高評価

平成22年度の「教育力向上福岡県民運動 優秀実践校」に、県下約350の中学校から3校が選ばれ、そのうちの1校として、赤池中(香月直校長)が表彰を受けました。交流体験を重視した「きょうだい班活動」を行い、学ぶ意欲の向上に成果をあげて、その功績が認められた赤池中。教職員の間での団結による日ごろからの取り組みが、今回の高い評価につながりました。

↓ 参加者全員によるシュプレヒコールで「明るく豊かで住みよい町づくりに頑張ろう」と声をそろえました。



暴 第一回福智町暴力等追放町民大会 暴力のない町づくりを誓う

「福智町暴力等追放町民大会」が12月12日に地域交流センターで開催されました。今回が初めてとなる町民あがりの暴力追放大会に、住民など約300人が参加。暴力団との関係を断ち切り、暴力に屈しない明るく住みよい町づくりを進めていくことを誓いました。また、田川署の副署長は「暴力団犯罪の撲滅は、警察や行政だけでは実現できない、住民や事業所と一体となった取り組みが必要です」と話し、理解と協力を呼びかけました。大会の最後は参加者全員でこぶしを挙げ、シュプレヒコールを上げました。

金田恵比須祭り 一年の締めくくりに1千400人が運試し

12月2日の夜から3日にかけて、金田菅原神社境内で「恵比須祭り」が催されました。主催の金田恵比須神社奉賛会の会員が「雨は初めて」と言うほど、初日は珍しく悪天候でしたが、果物などが当たる福引きや富くじを楽しみに、約1千400人が来場。会場内のテントでソバやおでんなどを手に語らった来場者は、心身ともに温かいひとときを過ごしたようです。



↑ 家内安全や交通安全を願う「打ち込み」の掛け声が、絶えず会場に響きました。

↓ 浦田弘二町長から委嘱状が手渡され、12月1日付で審議会が立ち上がりました。



個 第1回福智町男女共同参画審議会 個性と能力を発揮できる福智町へ

誰もが自分らしさを尊重し合える町を目指す「福智町男女共同参画基本計画」の策定に向けて、第1回審議会が12月3日に役場本庁で開かれました。審議会は10人の委員で組織され、委員長に県立大教授の文屋俊子さん(田川市)、副委員長に辰島裕人さん(金田)を選任。今後、月1回ほどの審議会を開き、6月を目標に基本計画の答申を行う予定です。